

内装仕上げ材 ワイド 壁パネル ウォーリアW-DP

非住宅向け 施工説明書

このたびは、フクビ製品「壁パネルウォーリアW-DP」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の施工説明書をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

■ 設計・使用上の注意

下記使用場所や下地材に施工してください

施工箇所：屋内の壁

対応下地：プライマー処理したケイカル板、プライマー処理したフレキ板、石膏ボード、合板

- 壁面以外(床や天井)には使用しないでください。
- 屋外には使用しないでください。
- 屋内でも0℃以下では使用しないでください。
- 打ちっぱなしのコンクリートへの直貼りは下地の水分による戻りや不陸があるため、必ず上記下地材を施工の上使用ください。
- 改修時に既存のクロスがある場合は、必ず剥がしてから施工してください。
- ケイカル板やフレキ板は仮止め用の両面テープがつきにくいいため、必ずプライマー処理してください。
- 下地ボードの固定はビス等により行い、縦目地、横目地、上下にあたるボード端部は、胴縁にしっかりと固定ください。
- 不陸がある場合は、必ず両面テープ等で調整、ならしを行ってください。
- 壁面に手すり等を取り付ける場合は、必ず下穴を開けてから、下地材のある位置に取り付けてください。
- 食品や消毒剤の種類によっては、長時間付着すると表面が変色する場合がございますのでご注意ください。

⚠ 注意

本製品の裏面に水が廻らないように、また、水道管等からの水漏れがないようご注意ください。本製品に不具合が発生する原因となります。高温多湿の環境下においても、裏面に水蒸気や水分がまわると化粧面に不具合が発生する場合がございますので納まりにご注意ください。

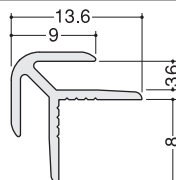
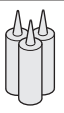
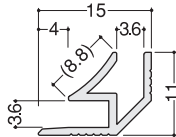
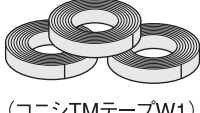
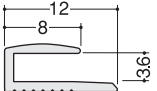
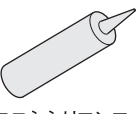
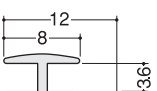
■ 輸送及び保管

- 輸送及び保管中は、雨水に濡らさないようにしてください。
- 積下ろしの際には角欠けなど破損しないように注意してください。
- 持ち運ぶ際には垂直に持ってください。
- 吊り上げる際には、当て板などを用い、ロープがけによる損傷を防止してください。
- 落下の恐れのある状態への放置は避けてください。
- 保管は壁面やコンクリート床面への直置きは避け、厚板やパレットの上に平積みし、シート類で保護し保管してください。壁などに立てかけることは、反りの原因となりますので避けてください。
- 雨水や直射日光を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- 施工中の一時立てかけの際は、角・端部のカケ、破損防止のため、厚紙・クッション材などにて養生してください。

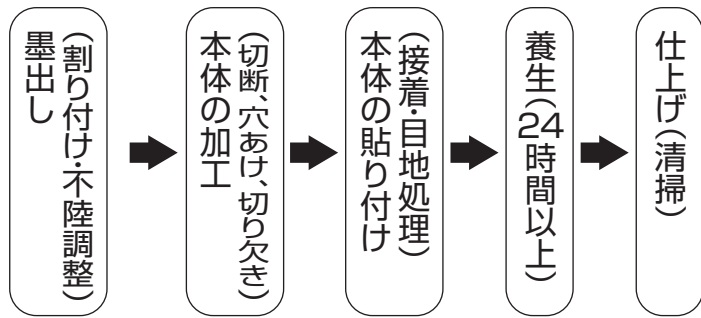
■ 部材一覧

呼 称	規 格
ウォーリアW-DP	3×8尺 (910×2,420mm)
	3×6尺 (910×1,820mm)

■ 別売り部材

呼 称	形 状	梱包内容	梱包入数	呼 称	形 状	梱包内容	梱包入数
出 隅		材 質：アルミ焼付け塗装 長 さ：2,430mm	5 本	接着剤	 (コニシKU920)	1液型ウレタン樹脂系 内容量：333ml	3 本
入 隅		材 質：アルミ焼付け塗装 長 さ：2,430mm	5 本	両面テープ	 (コニシTMテープW1)	巾 : 20mm 厚 さ : 1mm 長 さ : 10m	3 巻
見 切		材 質：アルミ焼付け塗装 長 さ：2,430mm	5 本	シーリング	 (コニシシリコンコーク)	1液型シリコン系 内容量：330ml 防カビ剤入り	10 本
ジョイント		材 質：アルミ焼付け塗装 長 さ：2,430mm	5 本				

■ 施工手順



■ 墨出し(割り付け・不陸調整)

本製品のジョイント部分に下地ボードの継ぎ目が合わないようにならずよう割り付けしてください。
不陸がある場合は、必ず両面テープ等で調整、ならしを行ってください。

⚠ 注意

本製品は柄により方向性があるものがあります。
割り付け・加工・施工時にご注意ください。

■ 本体の加工(切断、穴あけ、切り欠き)

● 工具(刃物は超硬をご使用ください)

切 断：パネルソー、ランニングソー、集塵機付ハンディ丸ノコ、ハンディソー
※粗切りにはNTカッターをご使用ください。表裏面より5~6回ずつ切り傷を入れ、化粧面を表にして折り曲げます。

穴加工：ドリル、ホールソー、ジグソー

仕上げ：ヤスリ、サンドペーパー

⚠ 注意

- 切断・研磨・穴あけなどの発塵作業を行う場合は、集塵装置を使用してください。
- 発塵作業を行う際は、長時間にわたり多量に粉塵を吸収すると、健康を損なう場合がありますから、作業の際には必要に応じて防塵マスク、防塵眼鏡を着用してください。
- 取扱い作業は、素手でせず手袋などを着用してください。
- 取扱い後は、うがい及び手洗いを励行してください。
- 万一粉が目に入った場合は、洗浄水などで洗顔し、医師の診断を受けてください。
- 作業服に付着した場合、よく落としてください。

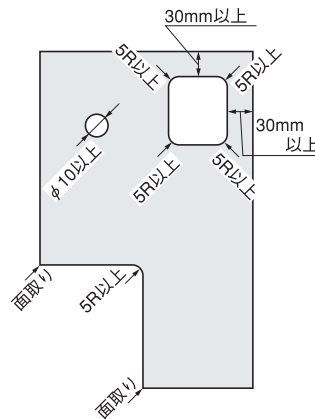
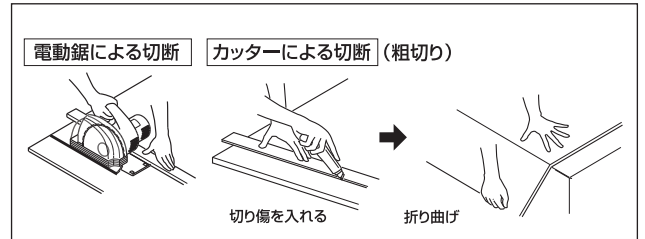
切り欠き部及び角コーナーは、5R以上のRをとってください。
(チッピングが発生した場合は、クラックの原因となりますので、ヤスリで平滑に仕上げてください)

ハマカケが残った場合は、ヤスリかサンドペーパーで平滑に仕上げてください。切りっぱなしの木口は、手を切りやすいのでご注意ください。

(#180~320のペーパーで軽く糸面をとってください)

加工後は出来るだけ速やかに貼ってください。

本製品は釘・ビス留めは出来ません。



■ 本体の貼り付け

1 前処理

- ① 下地の表面及び製品接着面のゴミ、水分、油汚れなどは取り除き、十分乾燥させてください。

2 両面テープの貼り付け、接着剤の塗布

(両面テープ1巻、接着剤1本で3×8尺板約1枚分の施工が可能です。)

- ① まず右図のように、裏面に専用両面テープ(TMテープW1)を縦方向に450mm以下のピッチで貼り付けます。この時、一度はがしたり、はがれたテープは再使用せず、新しいテープを使用してください。
- ② 離型紙の上から充分圧着し、離型紙をはがします。
- ③ 次に、右図のように接着剤(KU920)を縦方向に300mm以下のピッチで塗布します。直径6mm程度のビード塗布としてください。
- ④ タイル面施工の場合、両面テープはタイル面の200mm平方に1ヶ所以上を目安に貼ってください。この時、タイルの浮き、剥れがないことを確認し、表面汚れはキッチンクリーナー、水などで落とし、乾拭きしてください。タイル面をサンドペーパーなどで荒らすと、製品との密着性が良くなります。

3 貼り付け

- ① 割り付け位置に本製品を貼り付け、専用両面テープの位置に当て木をし、強く圧縮してください。
- ② 次に、巾の広い当て木をし、更に全面を均等に圧縮し、表面を平滑に仕上げてください。
- ③ 接着剤塗布後、10分以内に貼り付けを完了してください。

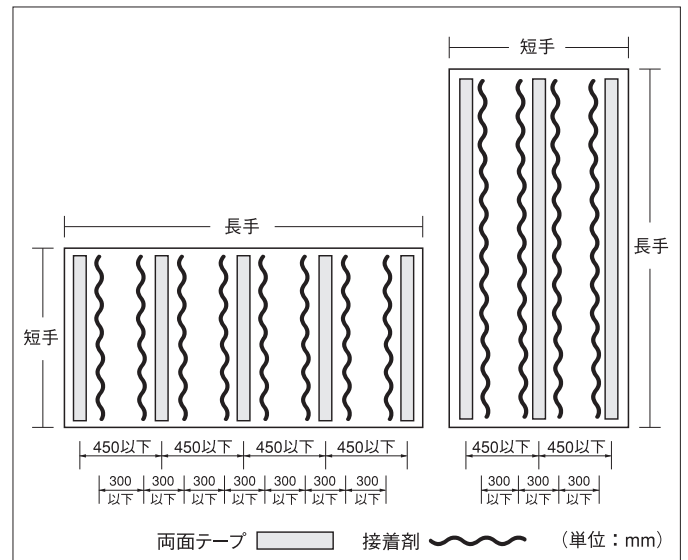
⚠ 注意 接着剤のはみだしや、塗布時に本製品の小口を汚さないようにしてください。目地汚れの原因となります。

4 目地処理(シーリング参考塗布長さ約12m~15m/本)

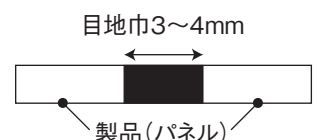
本製品の突き付け施工は止めてください。必ず3mm以上の隙間を開けてください。

ジョイントのシーリング目地巾は3~4mmとし、シーリング処理は接着剤が充分に硬化した後に行ってください。

水廻りで使用する場合は、化粧板の端部分及びシャワーフック、配管回りの隙間にはシーリング材などを充填するなどして、水が入らないようにしてください。



- プライマー処理を必要とする場合、プライマーを塗布してください。
- 両面テープはあくまでも仮止め用ですので、必ず接着剤を併用してください。



■ 養生

- 施工後24時間は衝撃を受けないよう、また水がかからないよう養生してください。
施工後は工事終了まで傷防止のために全体を養生してください。

▲ 注意

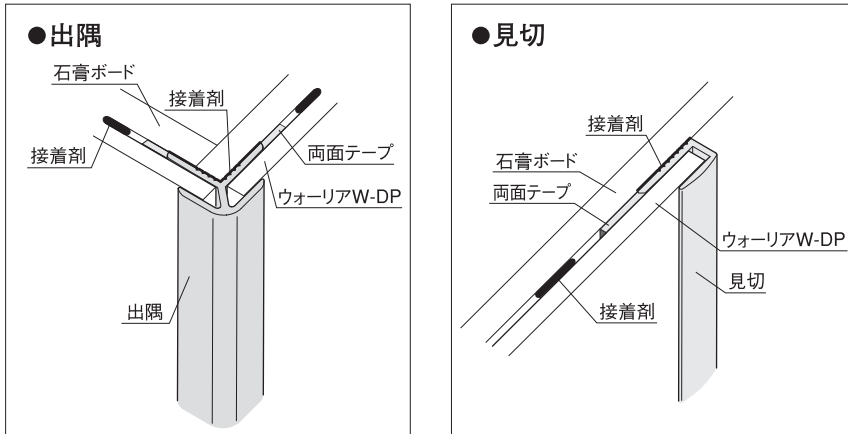
サイズが大きい場合や高所等の設置個所では接着剤硬化するまでに浮いたり剥離する可能性がありますので、押さえ等をして浮かないよう養生ください。特に2辺以上に役物（見切り・出隅・入隅・ジョイント）がない場合はご注意ください。

■ 仕上げ(清掃)

- 表面清掃・汚れ落としには中性洗剤かガラスクリーナーを使用してください。
クリームクレンザーは、傷、磨耗の原因となりますのでご使用にならないでください。

▲ 注意 表面に粘着力の強いテープや接着剤等を使用しますと、化粧材が剥がれることがありますので、使用しないでください。

■ 参考納まり図(断面図)



▲ 注意 出隅、見切部の納まりに関しましては、必ず役物を使用し納めて下さい。

